阪急阪神ホールディングス株式会社

グループ経営企画室　広報部
〒530-0012
大阪市北区芝田一丁目16番１号
Tel:06-6373-5092　Fax:06-6373-5670
https://www.hankyu-hanshin.co.jp/

News
Release
２０２１．０５．２１

阪急阪神ホールディングスグループ
サステナビリティ宣言
～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

「国連グローバル・コンパクト」への賛同について

阪急阪神ホールディングスは、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト（以下、ＵＮＧＣ）」に賛同を表明する署名を行い、２０２１年５月１７日付で参加企業として登録されましたので、お知らせします。

ＵＮＧＣは、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取組です。ＵＮＧＣに署名する企業・団体は、「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」「腐敗の防止」に関わる１０原則に賛同し、その実現に向けて努力を継続することが求められています。

当社グループでは、２０２０年５月に策定した「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」に基づき、ＥＳＧ（環境・社会・ガバナンス）に関するさまざまな取組を推し進めています。今後は、ＵＮＧＣが提唱する１０原則を遵守するとともに、より一層サステナブル経営の取組を充実させることにより、持続可能な社会の実現につなげてまいります。

〈国連グローバル・コンパクト 10 原則〉
【人　権】　原則１：企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
　　原則２：企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである
【労　働】　原則３：企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持すべきである
　　原則４：企業は、あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持すべきである
　　原則５：企業は、児童労働の実効的な廃止を支持すべきである
　　原則６：企業は、雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである
【環　境】　原則７：企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持すべきである
　　原則８：企業は、環境に関するより大きな責任を率先して引き受けるべきである
　　原則９：企業は、環境にやさしい技術の開発と普及を奨励すべきである
【腐敗防止】原則 10：企業は、強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである

WE SUPPORT
UN GLOBAL COMPACT

【添付資料】ご参考「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の概要

以　上

ご参考

「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」の概要は次のとおりです。

①サステナビリティ宣言（基本方針）

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」・「ひとづくり」を未来へつなぎ、
地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、
すべての人々が豊かさと喜びを実感でき、
次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

②サステナブル経営の重要テーマ（マテリアリティ）と取組例

テーマ	取組方針
① 安全・安心の追求	**鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。**
② 豊かなまちづくり	**自然や文化と共に、人々がいきいきと集い・働き・住み続けたくなるまちづくりを進めます。**
③ 未来へつながる暮らしの提案	**未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。**
④ 一人ひとりの活躍	**多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。**
⑤ 環境保全の推進	**低炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。**
⑥ ガバナンスの充実	**すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実で公正なガバナンスを徹底します。**

① 安全・安心の追求

具体的な取組の方向性

事故の撲滅と安全性の更なる向上、防災・減災に向けた取組の推進、災害発生時の適切な対応、安心で快適な施設・サービスの充実 など

取組例

【バリアフリーへの取組】
・グループの鉄道各社では、全てのお客様が駅や電車を快適にご利用できるよう、ハード・ソフト両面でのバリアフリー化を推し進めている。

「サービス介助士」資格の取得促進

② 豊かなまちづくり

具体的な取組の方向性

良質な住環境の整備、人の交流を生み出す商業・ビジネスエリアの整備・拡大、女性・子育て世代・高齢者・外国人のニーズに応えるサービスの提供、地域コミュニティ等との連携強化 など

取組例

【阪急電鉄 西宮北口駅周辺のまちづくり】
・2008年「阪急西宮ガーデンズ」を開業したほか、周辺に文化・教育施設を誘致し、エリアの価値向上に取り組んでいる。西宮北口は、関西の「住んでみたい街アンケート」において5年連続1位の評価を受けている。

阪急西宮ガーデンズ

③ 未来へつながる暮らしの提案

具体的な取組の方向性

自然との調和・地域の活性化・多様な価値観の受け入れ・次世代の育成などにつながる商品・サービスの提案、スポーツやエンタテインメントを通じた文化の創造と普及、ICTイノベーションの促進 など

取組例

【阪急阪神のあんしんサービス「ミマモルメ」】
・校門に設置したセンサーとICタグが連動して、子ども達の登下校の状況をご家庭等にアプリやメールでお知らせするサービス。この仕組みを活用して、高齢者を含めたまちの見守りサービス「まちなかミマモルメ」も展開している。

ランドセルに入れるICタグ

④ 一人ひとりの活躍

具体的な取組の方向性

働きがいの向上・労働環境の整備、健康経営やダイバーシティの推進、人権の尊重・ハラスメントの防止、次世代の育成の機会の提供 など

取組例

【阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊】
・当社グループの各事業において施設・人材を活用し、夏休み期間中の小学生に、多彩で本格的な仕事体験や学びの機会を提供している。

ホテルでのパティシエ体験

⑤ 環境保全の推進

具体的な取組の方向性

温室効果ガスの排出量の削減、省エネの推進、再生可能エネルギーの活用、環境配慮型建物の拡大、廃棄物発生の抑止・リサイクルの推進 など

取組例

【再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用】
・阪神甲子園球場、（阪急）摂津市駅、（阪神）大石駅、HEPファイブなどに太陽光発電設備を設置している。

阪神甲子園球場

⑥ ガバナンスの充実

具体的な取組の方向性

企業統治の実効性・透明性の向上、コンプライアンス・腐敗防止の徹底、気候変動リスクを含めたリスクマネジメントの強化、各ステークホルダーの意見を踏まえた事業遂行 など

取組例

・2020年6月に、取締役会の監督機能をより強化し、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図ることを目的として、監査等委員会設置会社に移行。当該移行と同時に役員数を11名に減じるとともに、独立社外取締役を5名（うち2名は女性）とし、独立役員の割合をさらに高めた。

サステナビリティ宣言の詳細は、当社コーポレートサイトでご紹介しています。

https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/